非常用消火ポンプの吸込揚程に関する事項

改正要領

鋼船規則検査要領 B 編及び R 編

改正事項

非常用消火ポンプの吸込揚程に関する事項

改正理由

非常用消火ポンプに要求される吸込揚程について、FSS コード第 12 章第 2.2.1.3 規則に「就航中起こり得る全ての横傾斜，縦傾斜，横揺れ及び縦揺れの状態の下で，（中略）決定される」と規定されているが，この規定を適用する上での具体的な状態が不明確であることから，当該規則に関する統一解釈の審議が IMO において行われてきた。

その結果，2010 年 11 月に開催された IMO 第 88 回海上安全委員会（MSC88）において，当該規則の統一解釈が MSC.1/Circ.1388 として承認された。また，MSC.1/Circ.1388 に基づき IACS 統一解釈 SC178 が改正された。

今般，MSC.1/Circ.1388 及び IACS 統一解釈 SC178(Rev.1)に基づき，関連規定を改めた。

改正内容

- (1) 非常用消火ポンプの吸込揚程を決定する際に考慮すべき，船舶の状態を新たに規定した。
- (2) 非常用消火ポンプの試験条件について新たに規定した。